

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3005号 2023年7月4日(晴れ) 第1回例会 会員数105名

## ハイブリッド例会

点 鐘 石川 元信 会長  
司 会 SAA 山下 大介 会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

◇本日のランチ 小付 煮物 挽肉チーズ焼き  
香の物 汁 御飯 デザート

## 認証状引き継ぎ式

加藤勝朗前会長から石川元信新会長へ  
感謝状並びに記念品の贈呈石川元信会長から加藤勝朗前会長へ  
石川元信会長から塚越淳史前幹事へ

## 会長挨拶

石川 元信 会長

皆様、こんにちは。今日は、正装というか、衣を着て参りました。今から27年前、入会した時も衣で来場し、「歴史と伝統のある宇都宮東ロータリークラブに入会させていただき、ありがとうございます！」と挨拶いたしました。まだ30歳台で、重鎮の方々が「何者だ、あいつは？」と見ていましたので、大変緊張した覚えがあります。その私が会長の重責を担い、ここに立つというのは夢にも思いませんでした。今一度、初心にかえるということで、衣を着て立たせていただきました。一年間、どうぞよろしく願いいたします。

## ◇稲見 京二会員よりご挨拶

この度の父の葬儀に際しましては、多くの方に弔儀を賜り、また、お心づかいいただきましてありがとうございます。おかげさまを持ちまして、無事、通夜祭、葬場祭を終えることができました。この場をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 幹事報告

谷田部 修 幹事

◇ロータリーレート 7月は1ドル145円。

◇7月1日現在、当クラブの会員数105名。

※6月30日付けで石原光会員、大関国明会員、清水秀修会員、関口泰成会員、田邊幅一会員退会

◇来週、第2例会は、委員会の事業計画発表。

◇シンガポール国際大会ご案内 2024年5月25日~29日開催。登録希望の方は、私か事務局までご連絡を。

## 新SAAスタッフ紹介 山下 大介 SAA

SAA山下大介会員。副SAA田嶋宏章会員・杉本充彦会員・駒場洋助会員・今泉一会員・谷田部勝寛会員。よろしく願い致します。



## 委員会報告

◇親睦委員会 石田 裕之 委員長

&lt;誕生祝い・7月&gt;

会員誕生

菊地 章浩、小篠 庸宏、轟 宗雄、  
上野 初雄、渡辺 純一、渡邊 和裕、  
渡邊 有規、谷田部勝寛

各会員

※記念品は、アルコールチェッカー

夫人誕生

稲見 京二、小篠 庸宏、倉井 章、  
黒崎 定美、中村 明、大塚 稔、  
五月女大介、炭田 匡利、若度 哲久、  
吉田 恭平

各会員の奥様

※記念品は、鉢植えの花、花束、アレンジメント、ソープフラワー、ギフト券から事前にお選びいただいた品。

◇スマイルボックス委員会 菊地 正幸 委員長  
稲見京二会員

※例会時にご本人からご挨拶

石川年度理事役員一同

1年間よろしくお願い致します。

スマイルボックス委員会一同

関副委員長、五味渕委員、佐々木（貞）委員、  
平出委員と私で皆様をスマイルでお迎えいたします。1年間よろしくお願い致します。

宇都宮東ロータリークラブ野球部一同



6月25日第38回全国ロータリークラブ野球部大会に初参加しました。憧れの甲子園の地で愛知県豊田中ロータリークラブと対戦し、11対0で勝利しました。大阪での前夜祭、甲子園でプレーできたことに感謝し、スマイル致します。



卓 話

「今年度会長方針」



石川 元信 会長

改めまして、よろしくお願い致します。先ほど、加藤前会長、塚越前幹事に感謝状をお渡ししましたが、無事に引き継いでいただき、前年度会長、幹事、役員理事の皆様、本当にありがとうございました。今年度もしっかきやっしていきたいと

思っています。よろしく願いいたします。

ゴードン R. マッキナリー R I 会長の方針は「世界に希望を生み出そう」です。コロナにより世界的にいろいろと失速しました。心の病も多くなったということで、メンタルヘルスを提唱されたと聞いております。ただ、コロナの影響で行動制限があったことで、ソーシャルメディアが使いやすくなり、バーチャル的なものが進んできました。それを使い、さらにロータリアン同士の交流をしながら、世界平和等々に尽力していこうとおっしゃっております。また、継続的な女兒のエンパワメントの取り組みも継続していくことです。ガバナー月信に詳しく載っていますので、そちらを拝読していただければと思います。

R I 会長の方針に従って、三井福次郎ガバナーは、コロナによって対面で会うことが出来なくなり、クラブというものが危うい状態になったため、クラブを立て直そう、ということで、「ロータリーの基本はクラブです！クラブを通したロータリー生活を楽しみましょう！言葉や口先だけでなく「行動」をもって誠実にロータリーを楽しみましょう！」というスローガンを掲げました。今年度は少しずつ通常の例会に戻して、懇親会等も通常に戻していきたいと思っています。納涼会は会員のみになるとは思いますが、クリスマスの方は家族全員をお呼び出来ればと思っています。

クラブを中心ということになりますが、それは会員がいての話であります。そこからクラブ方針を考えていきたいと思っておりました。私の仕事上、どうしても仏教的な話になりますが、好きな言葉に「一燈照隅」という言葉があります。一人が片隅を明るくしていけば、その周りも明るさを取り戻します。そしてこの後に続く言葉が、「萬燈遍照」です。多くの光が集まればそれが大きな光となってすべてを明るくしていくことです。天台宗の開祖伝教大師がおっしゃっていたことですが、これをこのままロータリアンに、我々の方に使っていきたくと思っています。私たち一人一人は一燈の光であります。その自分の周りから安心を、希望を与えていただきたい。皆様一人一人の姿がそのまま希望であり安心であるという見本になっていただきたいと思っています。皆様は経営者でありますので、健全な企業運営により地域社会にアフターコロナにおける希望と、安定した雇用によって生活に安心を与えていただきたいと思っています。ただ、一人ではなんともならないので、皆さんが集まって大きな力となり、多くの人々と喜びを分かち合えればと思います。ということで、この2点、「希望と安心をあたえ喜びを分かち合おう」というのが私の年度の方針としたいと思っています。

ローソクの詩で「人間のいのちは、一本のローソクに火をつけたようなものである。燃えながら、照らしながら、刻々刻々と減ってゆく。減ってゆくいのちを減らぬようにすることは誰にもできない。ただ、どこをどのように照らしてゆくのか、これだけが人間に与えられた、たったひとつの自由である」というのがあります。我々は命をいただいた限り、日々命を削って参ります。どう生きるかは我々一人一人の自由です。今一度、自分を振り返って見ていきたいと思っています。その中で、ロータリアンに出会えたことはありがたいと思っています。住職になって帰ってきて、周りからわからないところで、私の職業では知りえないことを沢山教えていただきました。いろいろな職業があるからこそ、そこには一人一人の経験があります。その経験が今の自分の糧になっていると思います。これもご縁と思っています。

ご縁ということといえば、教育学者の森信三氏の言葉があります。これも私の好きな言葉ですが「人間の一生のうち逢うべき人には必ず会える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎないときに。しかし、うちに求める心なくば、眼前にその人ありといえども、縁は生じず。」ということです。宇都宮東ロータリークラブの会員としてここにいるということは、必ず会うべき人だったとい

うことです。世の中に還元したい、奉仕をしたい、という思いがあって、それぞれ、ここに連れてこられたんだと思います。「どんな人がいるのかな、どんなことが学べるのかな」そういう思いがなければここにいなかったわけであります。それぞれやり方は違うと思いますが、思いはひとつ、と私は信じておりますので、いろいろな意見をかわしながら、ぶつけあいながら、いろいろな活動をしていきたいと思っています。互いに縁を生じたロータリアンですので、一緒に活動をしていただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

ここで、少し私の自己紹介なのですが、県庁前通り南大門横の興禅寺の住職です。興禅寺の創建は1314年の鎌倉末期です。血筋がつながっているというわけではなく、明治時代にお寺に預けられて京都に行った方の子孫がここにいる、ということです。学生時代の話ですが、一応、パイロットの免許を持っています。乗りたくてアメリカの方に行って、免許を取りました。運が良く、先代の和尚から飛行学校の話があったからです。良い人生経験をさせてもらいました。大学卒業後、さあどうする、ということで、寺を継ぐことになりました。4年間の修業を終え、住職として現在に至ります。石川元信（げんしん）と申します。一年間、よろしくお願ひいたします。